

セ試志願者数は、 前年増の55万人前後か!?

— 出願締め切り時点の志願者数は52万4,478人 —

旺文社 教育情報センター 20年10月14日

来春の高校卒業者数は前年比-2.0%(20年は前年比-5.1%)と小幅な減少が予測される中、21年センター試験の出願受付が、10月14日締め切られた。大学入試センターから発表された、同日17時現在の出願状況は以下のとおりである。

●出願総数 524,478人(518,565人; +5,913人、1.1%増)

<内訳>

○高等学校等卒業見込者 426,931人(418,423人; +8,508人、2.0%増)
(高等学校等経由出願)

○高等学校卒業者等 97,547人(100,142人; -2,595人、2.6%減)
(個人直接出願)

(注) 1. ()内は、前年締切日(19年10月12日17時現在)の志願者数、及び増減数と割合を示す。

2. 20年10月14日の消印まで出願を受け付ける。

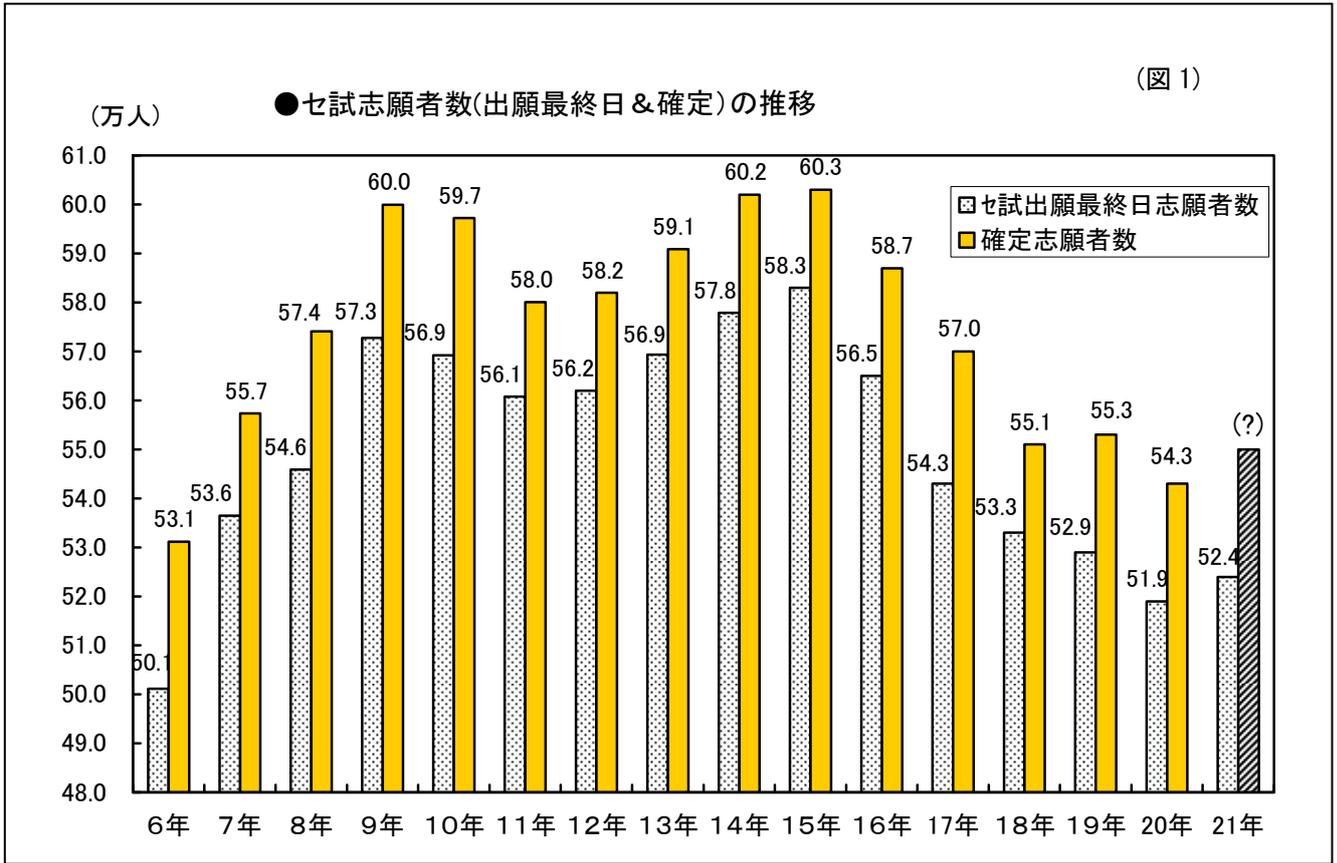
3. 重複出願等の確認、試験場の指定等を行った後、確定志願者数等の統計資料や試験場一覧が発表される(11月末予定)。

○ 最終的な志願者数は、今後消印有効分の2万数千程度が加わり、55万人前後になるとみられる。これは20年の54万3,385人(確定)より1%程度の増加となる。

○ 高等学校等卒業見込者(現役)の志願者数は、20年より8,508人(2.0%)増加した。18歳人口・高卒者数が前年の大幅減から小幅な減少に転じることが見込まれる中で、2年ぶりの増加となる。

これは、現役の大学進学率アップが見込まれている中で、私立大のセンター試験参加増(18大学50学部増の484大学1,366学部)と短大の参加増(8短大増の164短大)に加え、国公立大のセンター試験“多数科目負担”を敬遠し、少数科目の私立大センター試験利用入試へ流れる“現役志願者層”の拡大などが要因としてあげられよう。

○ 一方、高等学校卒業者等(浪人及び高等学校卒業程度認定試験合格者等)は2,595人(2.6%)減で、16年から6年連続の減少である。浪人の減少は、受験生数の減少に加え、一部の難関大学・学部を除き、全体としてはさらに“広き門”となり、浪人を生む素地が一段と縮小していることによる。



(大学・学部／短大)

